

■今月の PICKUP

初期消火から避難誘導までの実動訓練 人吉医療センター 消防訓練



■REPORT

人吉医療センター 新体制
令和5年度九州・沖縄ブロックDMAT実動訓練
人吉医療センター消防訓練
出前講座in球磨村
「在宅医療とアドバンス ケア プランニング(ACP)」

CPC (臨床病理検討会)
実習生感想
患者サポート相談窓口のご案内

人吉医療センター 新体制

島田信也 JCHO九州地区担当理事、院長に就任

1月23日付でJCHO熊本総合病院と当院の院長を兼務されることとなりました島田信也 院長(JCHO九州地区担当理事)が、2月1日当院に来院されました。

まず、各部署長を前に就任の挨拶があり、続けて当院職員への激励と地域住民に安心していただくための当院における「診療提供体制の維持と向上」について話がありました。

その後、引き続き薬師寺俊剛 副院長ら管理者の案内で病院内を見学し、病床稼働率や医療機器、職場環境のことなど現場のスタッフへも積極的に言葉かけをされました。島田院長の「何より職員のやる気が重要である」との言葉を胸に、今後も地域医療に貢献すべく、職員一同邁進して参りたいと存じます。

医療福祉連携室 南 秀明



大規模地震を想定し、自衛隊や医療機関が連携

令和5年度九州・沖縄ブロックDMAT実動訓練

DMAT

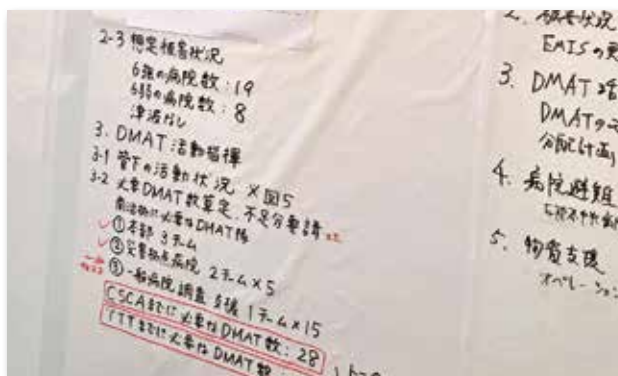


各班ごとに本部で活動

令和6年1月27～28日、「令和5年度九州・沖縄ブロックDMAT実動訓練」に参加しました。

今回は、沖縄本島南部スラブ内地震 (M7.8 震度6強) 発生を想定した内容で、平常時より他機関と地域の特性を勘案した出動体制、災害現場活動等について連携強化を図ることを目的に行われました。

九州各県から270人あまりの医療関係者や自衛隊らが沖縄県に集い、当院DMAT隊員5名は本部にて活動を行いました。



災害の概要



本部到着後、災害状況について説明を受ける

What's DMAT?

DMATとは災害派遣医療チーム **Disaster Medical Assistance Team**の頭文字をとった略語です。災害発生からおよそ48時間以内から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

人吉医療センター 消防訓練

初期消火から避難誘導までの実動訓練を実施！

2月21日(水) 消防訓練を行いました。今回は、夜間帯に本館4階にて出火したものと想定し、初期消火から通報、避難誘導及び救助活動までの実動訓練を行いました。無線機を活用した対策本部と各階との情報伝達、担架やイーバックチェアを使用した上階からの搬送訓練、消火用散水栓や消火器等消火設備の使用方法など、万が一に備えて院内消防設備の確認とスタッフ間の周知徹底を図りました。

初期消火の迅速な対応と、人命優先の避難誘導の大切さを改めて実感しました。

医療福祉連携室 野々上 真一



イーバックチェアや担架を使って患者を搬送。特に階段を降りる際には患者の状態を確認し、細心の注意を払いながら互いに声を掛け合う。



壁に取り付けられた「消火用散水栓」。火災発生時には、中のホースを取り出し初期消火を行う。この日は実際にフロアにホースを伸ばして操作の手順を確認。



火元を想定した的をめぐり、真剣な表情で消火活動を行う参加者たち。



講演/7名の地域住民の参加あり



人吉医療センター寸劇/「縁起でもなか話をすっばい」上映



もしバナカード/ゲーム感覚で、自分が大切にしたいことを選択してもらい、その理由について楽しい雰囲気の中で参加者の皆さんで意見交換

令和6年2月1日人吉球磨在宅医療・介護連携推進事業連絡協議会より派遣依頼を受けて、球磨村で開催された「ふれあいサロン」で地域住民に対して出前講座を行いました。

今回は、『在宅医療とアドバンス ケア プランニング』をテーマに地域包括ケアシステムを目指して、医療や介護が必要になっても可能な限り住み慣れた場所で療養を継続できるよう、その選択肢の一つとして、訪問診療や往診、訪問看護、訪問リハビリ、栄養指導などの「在宅医療」についてしました。

また、アドバンス ケア プランニングについて、当院作製の寸劇上映や「もしバナカード」を使用してカードゲームを行いました。

大切なことは「話し合うこと」、書き残した思いを「共有すること」、その手段の一つとしてと当院のACPシート、意思表示シートなどを紹介しました。

参加者の方から「元気なうちに今後のことを考える良い機会になりました」と笑顔で感想をいただきました。

意思表示シート

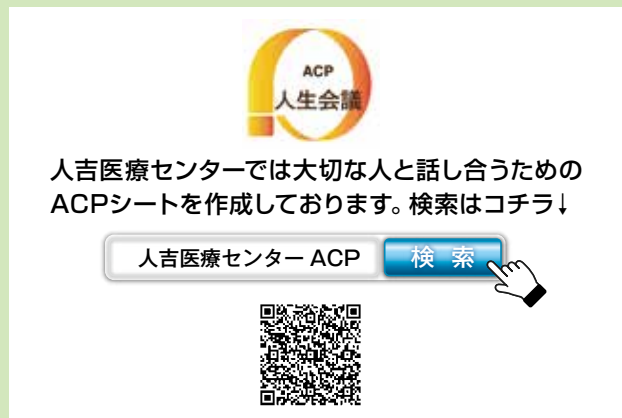


医療福祉連携室 田頭 隼人

ADVANCE CARE PLANNING



当院で制作したACPノート





CPC (臨床病理検討会)

血管内リンパ腫疑いの症例について討議しました。一見一般的な脳梗塞のようでありながら、それとは合致しない病歴、身体所見や検査所見がある、難しい症例だと感じました。病理診断も含めて、おそらく血管内リンパ腫の可能性が高いであろうとして一元的に説明できるところに興味深さを感じた一方、実臨床の中でこのような稀少疾患まで鑑別に挙げる難しさ、身体所見をしっかりとることの重要性を理解できた症例でした。

臨床研修医 粟津 周子



Impressions of medical training

実習生感想

地域医療実習を終えて



地域医療実習を終えた川瀬修平さん

2週間、地域医療実習でお世話になりました。

私は人吉に来る前週に、1週間、長崎県の五島で実習を行っておりました。離島での医療と人吉での医療が熊本市内とどのように違うのかに重点をおいて学ばせていただきました。

人吉においても離島においても、高齢化が著しいことが共通しておりました。家族が離れて暮らしていることも多く、緊急の際にすぐには駆けつけられないため、地域医療においては、予防医学に対する認識を高めること、および、ACPを早い段階から意識させておくことが大切だと感じました。

総合診療科の先生方をはじめ、各科においてご指導いただいた先生方、スタッフの皆様にご礼申し上げます。ありがとうございました。

熊本大学医学部医学科5年 川瀬 修平

地域医療実習の3週間、大変お世話になりました。

人吉医療センターでの実習は、病棟や外来、訪問看護、訪問診療、五木村診療所の診察を通して、医療の現場に実際に参加させていただき、地域医療について具体的に学ぶことのできた貴重な体験でした。病院の規模によって、地域医療における役割の違いがあることや、それぞれに必要な役割や機能、体制について学ぶことができ、より地域医療に対する理解を深めることができたように思います。

優しい先生方とスタッフの方々のおかげで、人吉の文化を楽しみながら、コミュニケーションの大切さも実践的に学ぶことができました。人吉のたくさんの名湯、五木村の風光明媚な景観、球磨川や川辺川の心休まる水の音、こだわりの醸造蔵の数々、みどころ満載の人吉での3週間はあっという間でしたが、とても印象深く心に残っています。

充実した実習を過ごせたのも、指導して下さった先生方、研修医の先生方、スタッフの方々、協力していただいた患者さんたちのおかげです、本当にありがとうございました。

この経験を活かして、よりよい医療を提供できる医師になれるよう、今後も知識や技術を磨いていきたいと思っています。

熊本大学医学部医学科5年 本田 恭司

この貴重な機会を通じて、専門知識を深め医療スタッフの方々との協力の中で成長できました。特に、先生方やスタッフの温かいサポートに感謝しています。

患者様とのふれあいから学ぶことが多く、医療の現場での責任と誠実さを強く実感しました。これからも学び続け、患者様に寄り添う医療者として貢献できるよう努めてまいります。

お忙しい中、勉強させて頂き本当にありがとうございました。

熊本大学医学部医学科5年 玉栄 大地

Impressions of medical training

お困りの際は 「患者サポート相談窓口」を ご利用ください!

病気やケガなどによって生じるさまざまな不安や悩みを
いつでも気軽に相談できるよう
当院では、患者サポート相談窓口を設置しております。

このポスターが
目印です

●例えばこんな不安やお悩みはありませんか

- ☑何科を受診したらいいの?
- ☑入院って何を準備したらいいの?
- ☑医療費って高い?
- ☑介護保険や助成制度のことを知りたいんだけど…
- ☑治療のことを詳しく知りたい!

詳しい情報がわからずに不安だけど、どこに相談したらよ
いのだろう…そのような時は「患者サポート相談窓口」をご
活用ください。患者さまやご家族さまの、疑問や不安を少し
でも和らげるため、医師や看護師、薬剤師、管理栄養士、社
会福祉士など、様々な職種が協同しサポートを行います。

予約は必要ありません。開設時間内に相談窓口までお気
軽にお越しください。

なお、夜間・休祝日は、管理当直が承りますので、お近く
のスタッフまでお気軽にお声がけください。

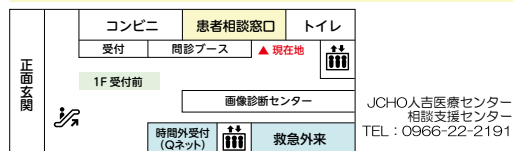


患者相談窓口

病気やケガなどによって生じる様々な不安や悩みの
サポートをさせていただきます。

【開設時間】月～金（祝祭日を除く） 8:30～17:15

※上記時間以外は、随時受付（Qネット）もしくは救急外来スタッフ（管理当直）にお声がけ下さい



JCHO人吉医療センター
相談支援センター
TEL: 0966-22-2191

【がん相談】

- ・がんの疑い、と言われたけど不安でたまらない。
- ・セカンドオピニオンを受けたい。
- ・がんの診療や治療についてもっと知りたい! など



【受診相談】

- ・どの診療科を受診したらよいか分からない。
- ・家族は遠方に住んでいる。付き添いは必要かしら?
- ・通院期間はどれくらい? など



【医療・看護相談】

- ・病気の説明を聞いたけど、よくわからなかった。
- ・医療に対して不満がある。
- ・お薬の詳しい話を聞きたい。 など



【福祉相談】

- ・これからの生活が心配。治療費はいくらかかるの?
- ・治療をしながら、仕事は続けられるの? など



その他、ご意見やご要望も併せて承っておりますので、どうぞお気軽においでください。
不在の場合は、お近くのスタッフへお声がけください。

【開設時間】 平日/ 8:30～17:15 ※夜間・休祝日は管理当直看護師が承ります。

【場 所】 1階 患者サポート相談窓口（相談支援センター内）

理 念 145年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針 患者中心の医療
患者の人権と意思を尊重します
診療3本柱
がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります
完結型医療
地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア
地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します
社会貢献
災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います
医療人育成
地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

臨床研修理念 医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的役割を認識しつつ、
臨床に必要な基本的診療能力を習得し、全人医療を提供できる医師を目指します。

臨床研修の
基本方針 1. 人間性豊かな医療人の育成
2. 医療全般にわたる広い視野と高い見識を持つ医療人の育成
3. 患者の立場に立った医療を実践する医療人の育成
4. チーム医療のできる医療人の育成
5. 生涯学習をする医療人の育成
6. 地域医療に貢献する医療人の育成
7. 公的中核病院としての責務を自覚する医療人の育成

